令和7年度　未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書（報告書）

学校番号	31	学校名	山梨高等学校	全・定・通	定	在籍生徒数	22　名
スクールポリシー（学力に関するもの）	Ⅰ　基礎的・基本的学力の定着を図り、自ら学ぶ意欲を持つ生徒を育てます。 １「主体的・対話的で深い学び」への授業改善の推進 ２　学習意欲を高め、学習習慣の確立につながる学習評価の改善						
グラデュエーションポリシー	1　基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、自ら学ぶ力を育成します。 2　基本的生活習慣の確立を図り、学業と仕事を両立できる生徒を育成します。 3　自他を敬愛する豊かな心と協働して物事を創造していく社会性を持つ生徒を育成します。 4　生命や人権を尊重し、心身ともにたくましい生徒を育成します。 5　主権者として意欲的に社会参画していく生徒を育成します。						

生徒主体の授業への転換のための取組テーマ	
	自ら自己調整をしながら学習を進めていくことができる自立した学習者づくり
	目標の実現に向けて生徒が自己選択や自己決定を行う機会の創出
	主体的・対話的で深い学びの視点による授業と評価の改善
○	ICTの利活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
	文理の枠を越えた教科横断的・総合的な探究課題への取組

具体的な取組

・Teamsなどを活用した、グループワーク・意見の共有。
・BYOD端末を活用した調べ学習。
・デジタルノートの活用。
・BYOD端末を活用した音読テスト。

「生徒主体の授業への転換のためのアンケート」高評価数値の推移（%）	R7中間	R7末
（各校の授業アンケートに基づく）		
1.自ら学習課題や学習方法を選択して自主的、自発的に学習に取り組むことができた　（①強くそう思う、②そう思う）	84.6	81.8
2.活用や探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた　（①強くそう思う、②そう思う）	63.5	72.2
3.授業や単元の始まりに目標を確認することができた　（①強くそう思う、②そう思う）	77.6	79.5
4.授業や単元の終わりに目標の達成度を自己評価することができた　（①強くそう思う、②そう思う）	62.8	77.3
5.授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた　（①強くそう思う、②そう思う）	61.0	77.6
6.授業の中で課題解決に向けて自分から取り組んでいる　（①強くそう思う、②そう思う）	61.5	79.5
7.授業の中で各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った　（①強くそう思う、②そう思う）	69.2	76.7
8.他の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた　（①強くそう思う、②そう思う）	74.7	81.1
9.学習した内容について、分かった点や、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた　（①強くそう思う、②そう思う）	67.9	77.8

総合評価（学校としての今年度の成果と次年度の取組を含む）

保護者アンケートの学力に係わるものについては、質問項目：本校職員はわかりやすい授業のために、教材や教え方に工夫を凝らし、生徒の基礎的・基本的な学力の定着を目指して努力している。／高評価数値（4段階評価中4＋3）：100%／本校の学力に関する教育目標に対して、保護者から高い評価となった。今後も基礎・基本の定着をめざしたわかりやすい授業の実践を継続していきたい。
高校入学を機に、定時制で心新たに学習を再スタートする気概を持って入学してきた生徒に対し、適切な課題と方向性を持った指導を心掛けてきた。生徒の到達度に応じた個別な最適化された課題や学習内容について、生徒の進路希望にも十分対応できる指導を心掛けていきたい。保護者からも支持を得ているので、くじけることなく努力を重ねる中で学習が深まるよう努力していく。

各教科の取組　※左欄の取組テーマの実践を通して各教科の資質・能力を育成する。

教科	生徒が身に付ける資質・能力	中間評価	年度末評価	課題解決のための次年度の取組
国語	社会生活の中で必要な言葉についての知識や情報の扱い方を身に付けるとともに、言葉の持つ特質を理解し、適切に使うことができるようにする。	3.9	3.8	身近な集団内での会話にとどまらず、広く相手や場面を想定し、適切な言葉選びができるような教材を活用する。
	社会生活の中で、言葉を用いて他者の考えを理解したり、自分の考えを伝えたりする力を高め、創造的・論理的思考力や、共感、想像する力を伸ばす。	3.8	4.1	自分の意見や考えを発表できる機会と心理的安心のある授業の場をつくり、論理的に考えを述べられるような教材を増やす。
	言葉を用いて考えたり伝え合ったりすることの重要さを認識するとともに、適切な言葉づかいや言葉の味わいなどの感覚を高め、また読書を通して言語文化に親しむなどして、自身の国語を向上させようとする態度を養う。	4.1	4.2	日常生活につながる言葉遣いの適切な知識と感覚を育てる。幅広い分野の文章に触れるために、通年をとおして読書に親しむ機会を設ける。
地公	地理（地理総合）・歴史（歴史総合）・公民（公共・政治経済）にかかわる事象について理解することができる。また、資料から適切に情報を読み取り、まとめる技能を身につけることができる。	3.9	3.9	資料をしらべたり、活用したり、レポートなど意見をまとめる作業をする際に、BYOD端末の利用を積極的に行っていく。
	地理（地理総合）・歴史（歴史総合）・公民（公共・政治経済）にかかわる事象について、事実に基づいて複数の視点から考え、判断し、自分の考えを表現することができる。	3.6	3.8	授業内やレポートでの問いの出し方を工夫していく。また、多面的・多角的に考察できるように図表や写真など、資料を充実させていく。
	地理（地理総合）・歴史（歴史総合）・公民（公共・政治経済）にかかわる事象について、興味関心を持つとともに、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	3.8	3.9	学んだ内容がどのように生かすことができるのかを、生徒の生活に身近なテーマを取り上げつつ、普段から考えてもらえるような授業を展開していく。
数学	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	3.5	3.5	授業を通じて事象を客観的に捉え、数学的な考え方や法則性を見出し、数学的な表現や処理をしようと試みながら、適切な技能の一部（だけでも）を獲得できるようにする。
	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	3.4	3.4	先ず数学的な考察や処理の仕方を一つでも多く獲得させて、それらを利用したり、統合しようとしたりしながら、学んできた知識・技能を活かそうとする場面を増やす。
	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	3.6	3.7	数学で学習したことを活用しようとすることによって、効率や負担の少なさを実感し、また生活の一場面で数学的な発想や知識を活用しようとする姿勢を育てる。
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	3.8	3.9	学習内容の基礎的・基本的な知識を身に付けることができた。観察・実験の技能を身に付けるため、各単元で観察・実験の時間を各単元で計画的に実施する。
	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	3.5	3.4	観察・実験をとおして、学習内容の基礎的・基本的な知識を使い、科学的に探究する力が養われる授業展開を計画する。
	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	3.5	3.8	次年度も学習した内容だけでなく、自ら探究したくなるような学習内容とそれに関わる事象を紹介し、興味・関心が高まるよう継続する。
英語	単語・熟語の発音や意味、表現や文法について理解をし、状況に応じて活用する技能を身に付けることができる。	3.6	3.6	ICTを活用し、英文の音読練習を毎時間行い、単語や熟語・表現や文法事項を状況に応じて活用できるよう指導する。授業プリントや小テストを行い、知識の定着を図る。
	コミュニケーションを行う状況に応じて、日常的な話題について話し手や書き手の意図を理解し、表現することができる。	3.5	3.3	日常的な話題をイメージして、自分のことについて発話できるように、ICTを活用して表示する。イラストなどを利用し、話す内容をイメージしやすくする。
	外国語の背景にある文化に対する理解深め、コミュニケーションを図ろうとしている。	3.5	3.4	英語の映画やニュースを取り入れることで、外国語の背景にある文化について理解を深め、コミュニケーションを促す。題材に関する歴史的背景をYouTubeなどを利用し理解を深める。
芸術	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けることができる。	3.6	3.7	書の表現をわかりやすく指導し、基礎的な技能を身に付けさせるとともに、書体の違いについてより理解を深めることのできることを目指す。
	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	3.6	3.6	書体の制約がある中で、自分自身で構想や表現を工夫ができる指導をし、より豊かな表現をすることができることを目指す。
	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していくことができる。	3.7	3.5	授業への取り組みは非常に熱心に取り組んでいるので、今後は日常生活の中にある書道についても興味・関心を持つことができることを目指す。
家庭	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けることができる。	3.8	3.9	概ね必要な事柄については学習させることが可能であった一方、科学的な観点から思考を深めて知識の幅を広げて行くことが難しい生徒もおり、今後の課題である。映像教材やインターネット資料などを使用し、工夫を重ねていきたい。
	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決することができる。	3.7	3.6	課題設定、解決策の構想、実践の評価・改善、科学的な根拠に基づく表現については、指導方法の改善が必要と思われる。自身の生活を見つめ、将来のライフデザインを設計し、発表などで表現できるように授業内容を改善していきたい。
	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとすることができる。	3.8	3.7	生徒一人ひとりの家庭環境が異なり、将来への展望も様々であるが、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画させるとともに生活文化を継承するような態度を涵養していきたい。
保体	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	3.9	3.9	実施種目数などを検討し、種目の特性に触れる中で技能を身に着けさせるように指導改善を図る。
	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	3.7	3.6	健康についての社会的課題について話し合う「課題解決型学習」を取り入れ、発表などを通した表現力を身に着けさせるようにする。
	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊か活力ある生活を営む態度を養う。	3.8	4.0	県事業での「体力向上の一校一実践運動」を通じ、特に体育の授業において運動に親しみ、且つ体力の向上に向けた運動を取り入れる。
情報	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。	3.7	3.7	PCの基本的なスキル差が大きく、通年で授業の進度と目標の達成が非常に困難であった。次年度は、年度当初に基本的なスキル習得の徹底を行い、技能の習得と理解を深めることができるようにしたい。
	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	3.8	3.8	今年度は学力差が大きく、基本的な学習内容を中心とした授業展開となった。次年度は応用的な内容まで学習することで、思考力・判断力の育成に取り組みたい。
	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	3.7	3.9	授業への取り組みだけではなく、家庭科でのローンシミュレーションや総合的な探究の時間でのプレゼンなど、教科を横断して授業内容を活かすことができたので、次年度以降も継続して取り組みたい。
総探	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解することができる。	＊＊＊	4.0	先行研究を提示し、課題を探究する中で、新しい知識や技能を発見する喜びを持てるように工夫する。
	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。	＊＊＊	4.0	実社会で生きている中での自分の課題を明確にできるよう、社会的な問題の具体例を示す。
	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとすることができる。	＊＊＊	4.0	それぞれの個性を生かして、クラスメイトと協力して探究活動を行うように毎時間声掛けをする。